事例No.	1931
公表年度	R4
団体の属性	指定都市
団体名	兵庫県神戸市

事例区分	公営企業

タグ	・市場事業 ・公共施設活用 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	PPP/PFI

事例内容・タイトル

PFI手法を導入した市場施設の再整備事業

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【兵庫県神戸市】
PFI手法を導入した市場施設の再整備事業

PPP/PFI　市場事業

兵庫県神戸市経済観光局中央卸売市場運営本部本場

● 取組の概要

阪神・淡路大震災後の厳しい財政状況の中、財政負担の縮減と市場関係者の使用料負担の抑制により、良質な公共サービスの提供を図るため、PFI手法を導入した。

◆総事業費　約156億円

◆背景

- 神戸市中央卸売市場の本場は、市場施設の老朽化が進むとともに、道路で東西に分断されているなど、機能的な課題があった。
- これらの課題を解決するとともに、民間活力の活用によりサービスを向上するため、PFI手法による施設整備等を検討することとした。

◆具体的内容

- PFI手法のうちBTO方式を採用し、民間事業者が市場施設の設計及び建設を行い、その後市に所有権移管するとともに、維持管理及び運営を行う。
- PFI事業者が、市場PRの一環として、HPの作成や市場で取り扱われる新鮮な食材を使った料理教室の運営などを実施した。

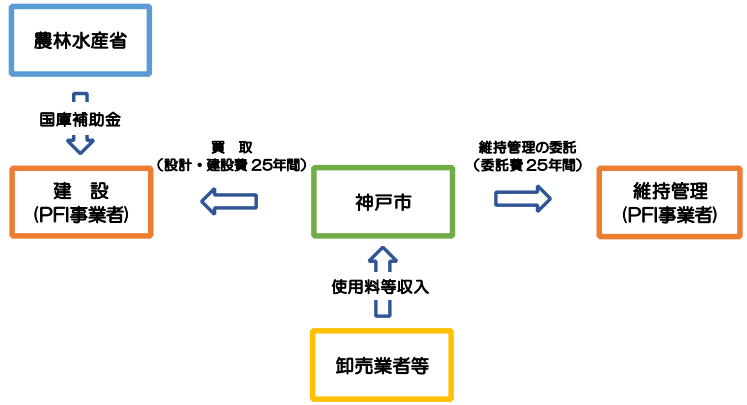
◆効果

- 一括発注及び性能発注により、従来の建設予定価格より20%程度費用を削減した。
- 施設整備費と維持管理費の削減によって、市場施設完成時には高いVFM（15.6%）を達成した（全国平均は10%台）。

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　1,515,014人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　557.03km^2（令和4年1月1日時点）
- 年間取扱高　162,530t（令和3年度）

PFI（BTO方式）によるスキーム図



● 取組のスケジュール

- 平成11年度に再整備基本構想を策定し、平成15年度にPFI実施方針を公表。
- 平成16年度にPFI事業者を選定し、契約を締結。
- 平成21年度に第1期事業部分の供用開始。

● 取組のポイント

- 市の負担を軽減するため、場内事業者との調整等をPFI事業者の業務とした。
- 地元経済の活性化にも資するために、事業者の公募に当たって地域経済への貢献策についての条件を設定した。

● 今後の展望

- 開設者とPFI事業者がそれぞれ別の施設を維持管理をしているため、効率的な一元管理の手法を検討する。